



日本バイオセーフティ学会

The Japanese Biological Safety Association

日本バイオセーフティ学会

実験室バイオセーフティ専門家制度について

実験室バイオセーフティ専門家制度

1. 制度の目的

日本バイオセーフティ学会は、「実験室バイオセーフティ専門家制度」を設け、実験室バイオセーフティ並びにバイオセキュリティの基盤となる、バイオリスクマネジメントをはじめ、施設・設備、各種安全装置につき理解し、総合的な技術力・技能力をもつものを育成する。そのための講習会を行う。

日本バイオセーフティ学会は、講習会の課程を終了し試験に合格した者を、「微生物学の利用や公衆衛生における安全の保障並びに臨床研究を始め疫学的研究や医療施設での検査環境などでの安全性の確立に寄与できる専門家：実験室バイオセーフティ専門家」と認定する。

認定期間は5年間で、更新講習を実施し、次の5年間の認定を行う。

2. 制度の運用範囲

わが国では既に多くの施設で感染症法に基づく運用が行われている。感染症法に「病原体等取扱主任者の要件」も定められて、またカルタヘナ法などの法令もあるが、これらの法令、規則には何ら抵触するものでは無い事を前提としての運用とする。

3. 講習での基本的事項

わが国で既に施行並びに運用されている法律、国際的な各種ガイドライン等を基本とした講習内容とする。

実験室バイオセーフティ専門家講習会

4.講習会日程と構成

5日コース 講義と実習(カリキュラム参照)、総合討論

5.費用

受講費用 100,000 円 認定費用 30,000 円 (第7回講習会の時点)

6.受講資格

実験室バイオセーフティに関わる実験研究、運営管理、設計・施工管理等の業務経験を3年以上有する者

7.認定試験

講習会最終日に実施

8.認定期間

5カ年 更新講習を実施し再認定する *更新手続き等については別途連絡

9.建築 CPD(継続能力/職能開発)プログラム認定について

公益財団法人建築技術教育センター:建築 CPDプログラムの認定対象講座有

実験室バイオセーフティ専門家講習会

会場:

施設名称 一般社団法人 予防衛生協会内 研修室・BSL2 室

住所 〒305-0003 茨城県つくば市桜 1 丁目 16-2

アクセス: <https://www.primate.or.jp/access>

事務局:

一般社団法人 予防衛生協会内

日本バイオセーフティ学会学術企画事務局

E-Mail: jbsa-gakkai@primate.or.jp

TEL 029-828-6888 FAX 029-828-6891

担当者 柴田宏昭、小野孝浩

詳細につきましては、下記、学会ウェブを確認願います。

[実験室バイオセーフティ専門家制度\(講習会\)](https://jbsa-gakkai.jp/index_course.html)

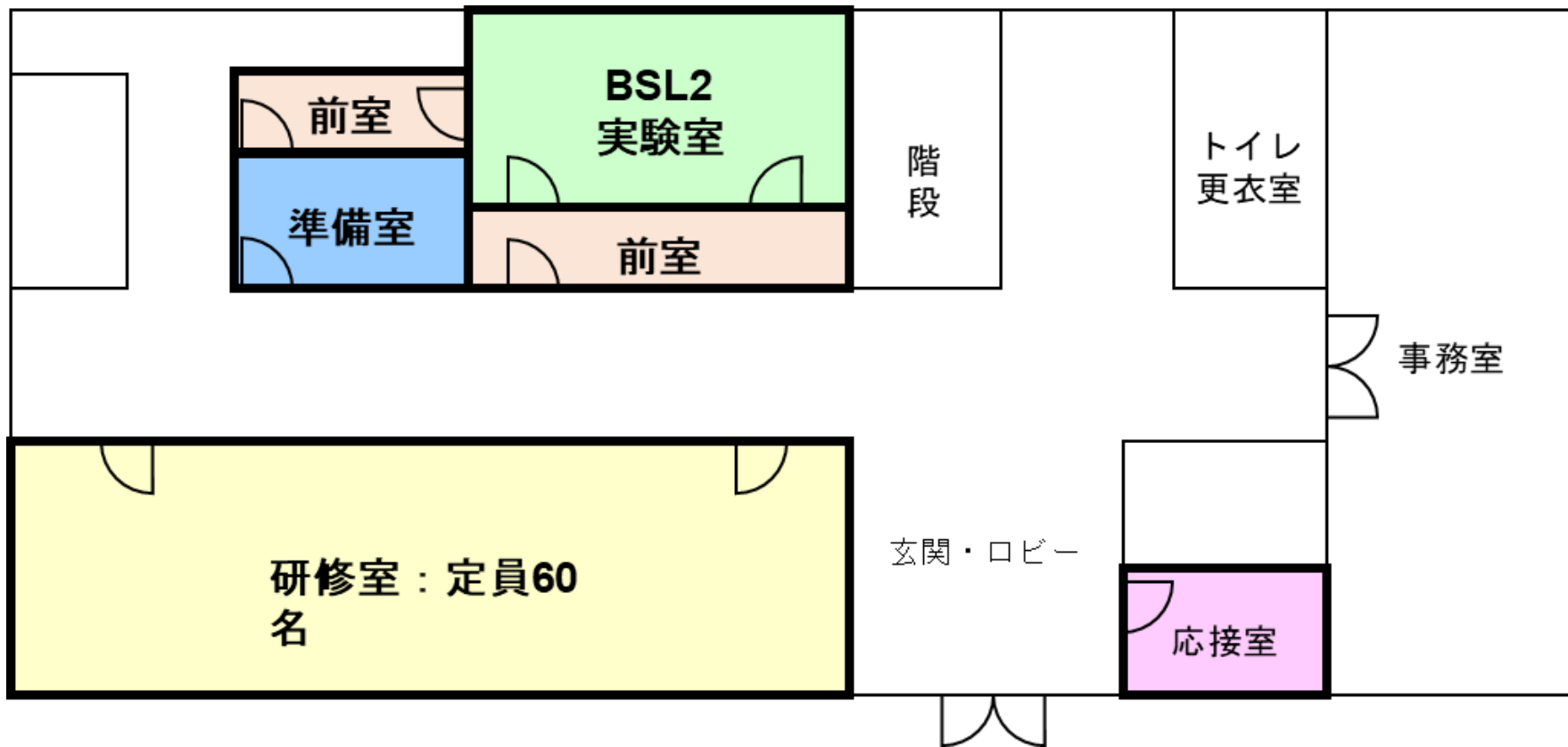
https://jbsa-gakkai.jp/index_course.html

実験室バイオセーフティ専門家講習会 カリキュラム

講座(座学と実習)

- (1) 講座名: バイオセーフティ・マネジメント(90分)
- (2) 講座名: 微生物学概論(90分)
- (3) 講座名: 建築学概論(90分)
- (4) 講座名: 建築設備概論(90分)
- (5) 講座名: 遺伝子組換え体取扱い施設(90分)
- (6) 講座名: 実験動物(感染動物)施設・設備(90分)
- (7) 講座名: 1次バリアー: 封じ込め装置、滅菌装置(60分)
- (8) 講座名: BSLシステムに係る制御システム(60分)
- (9) 講座名: 病原体等安全管理(60分)
- (10)(11)(12) 講座名: **実習** BSLシステム・BSC・PPE
ガイダンス+座学+実習(3班)(210分)
- (13) 講座名: 医療施設におけるバイオセーフティ(院内感染対策)(60分)
- (14) 講座名: 医療施設におけるバイオセーフティ(病院施設概要・設備概要)(60分)
- (15) 講座名: 消毒・滅菌概要(40分)
- (16) 講座名: バイオ医薬品製造施設概要: バイオ医薬製造に係る安全環境システム(50分)
- (17) 講座名: バイオ医薬品製造施設概要: ワクチン製造施設・スイート実験室(50分)
- (18) 講座名: **実習** 標準操作手順(SOP)・標準微生物取扱い手順(GMT)
SOPの一部作成(120分)
- (19) 講座名: 感染性廃棄物の処理・病原体等の輸送(60分)
- (20) 講座名: 実験室バイオセキュリティ(60分)

実験室バイオセーフティ専門家講習会 会場平面図



実験室バイオセーフティ専門家講習会 会場

研修室



BSL2実習用実験室 前室入り口・パスボックス



クラスII安全キャビネット





日本バイオセーフティ学会
The Japanese Biological Safety Association

第7回実験室バイオセーフティ専門家講習会開催のご案内

第7回講習会期間:

2025年6月16日(月)~6月20日(金)5日間

開催場所: 一般社団法人 予防衛生協会内 研修室・BSL2室

費用:

受講費用 100,000円

認定費用 30,000円

受講受付期間:

第7回 2025年3月3日(月)受付開始

定員(27名)となり次第、締切り

第7回実験室バイオセーフティ専門家講習会

事務局：

一般社団法人 予防衛生協会内

日本バイオセーフティ学会学術企画事務局 E-Mail: jbsa-gakkai@primate.or.jp

受講申込先：担当者 小野孝浩、柴田宏昭

詳細につきましては、下記、学会ウェブを確認願います。

[実験室バイオセーフティ専門家制度\(講習会\)](https://jbsa-gakkai.jp/index_course.html)

https://jbsa-gakkai.jp/index_course.html

・[「実験室バイオセーフティ専門家制度について」](#)

・[「第7回実験室バイオセーフティ専門家講習会」開催案内](#)

・[「第7回実験室バイオセーフティ専門家講習会」受講申込書](#)

カリキュラム：講座名と講師

- | | |
|--|----------------------------|
| (1) 講座名：バイオセーフティ・マネジメント(90分) | 篠原克明(信州大学) |
| (2) 講座名：微生物学概論(90分) | 杉山和良(国立感染研) |
| (3) 講座名：建築学概論(90分) | 坂田保司(山下PMC) |
| (4) 講座名：建築設備概論(90分) | 古川 悠(ダイダン) |
| (5) 講座名：遺伝子組換え体取扱い施設(90分) | 篠原克明(信州大学) |
| (6) 講座名：実験動物(感染動物)施設・設備(90分) | 北林厚生(予防衛生協会) |
| (7) 講座名：1次バリアー：封じ込め装置、滅菌装置(60分) | 北林厚生(予防衛生協会) |
| (8) 講座名：BSLシステムに係る制御システム(60分) | 石原正也(アズビル) |
| (9) 講座名：病原体等安全管理(60分) 概略
実験動物運用紹介 | 篠原克明(信州大学)
藤本浩二(予防衛生協会) |
| (10)(11)(12) 講座名：実習 BSLシステム・BSC・PPE
ガイダンス+座学+実習(3班)(210分) | |
| (10) 井上秀(八洲電機)、小暮一俊(NPOバムサ)、(11) 高澤優志(日立産機システム) | |
| (12) 篠原克明(信州大学)、佐々木雄治(イカリストリファーム) | |
| (13) 講座名：医療施設におけるバイオセーフティ(院内感染対策)(60分) | 國島広之(聖マリアンナ医科大学) |
| (14) 講座名：医療施設BS(病院施設概要・設備概要)(60分) | 大山有紀子(山下設計) |
| (15) 講座名：消毒・滅菌概要(40分) 中村浩章(アース環境) | |
| (16) 講座名：バイオ医薬製造に係る安全環境システム(50分) | 北林厚生(予防衛生協会) |
| (17) 講座名：バイオ医薬品開発研究・スイート実験室(50分) | 宮嶋 聡(山下設計) |
| (18) 講座名：実習 標準操作手順(SOP)・標準微生物取扱い手順(GMT)
SOPの一部作成(120分) | 北林厚生(予防衛生協会) |
| (19) 講座名：感染性廃棄物の処理・病原体等の輸送(60分) | 杉山和良(国立感染研) |
| (20) 講座名：実験室バイオセーフティマニュアル・バイオセキュリティガイダンス(60分) | 杉山和良(国立感染研) |